

下水道接続促進大会



▲中田市長(左)から16業者に表彰状が手渡されました

下水道の適切な接続工事と接続普及をめざして関係業者約200社が集い11月2日、西淡公民館で下水道排水設備事務連絡会(接続推進大会)が開催されました。

現在、市内での下水道面整備率(工事の進捗状況)は、約70%で、下水道接続率は約60%です。



▲研修会の様子(西淡公民館大ホール)

今後とも下水道への理解と早期接続を願います。

島内各地から親子が集まりました



▲島内の作業所によるパンなどの販売

三原健康広場で11月2日、淡路島内の8つの子育て学習センターを利用する親子が一堂に集まり、交流するイベント「子育てなかよしフェスタ」が開催されました。これは、子育て学習センターの充実や、親子交流の拡充を目指して行われているもので、今回は島内各地から677人の親子が参加しました。



▲広場で遊ぶ親子

子育てなかよしフェスタ

いいき百歳体操という体操が淡路島内で広がっています。これは高齢になっても丈夫な体で元気に暮らしていくための体操で、市内でも36のグループ、670人の参加者があります。そんな中、南淡公民館で10月30日、市内の各グループが、それぞれの行っている取り組みを紹介する「いいき百歳体操交流大会」が開催されました。



▲最後に参加者全員で体操を行いました

いいき百歳体操交流大会

大会では、体操に参加している人たちの中で最高齢の男性と女性が表彰を受けました。94歳の長濱岸夫さん(福良)は「足が立たなくなるのが心配ですが、百歳体操に参加することで、一日でも長く自分の



▲長濱さん ▲山下さん

足で歩けると思う」と話し、93歳の山下ひさ子さん(福良)は「足腰が軽くなるので、動ける限り参加したい。週1回、皆さんに会えるのも楽しみです」と話しました。

それぞれのグループの活動紹介では、「階段を上るのが速くなった」「正座できなかった人ができるようになった」といった体操の効果や「替え歌を歌ってストレスを発散している」「個人の自宅に集まって体操している」といったグループ独自の活動についても報告が行われました。

「食」の大切さを学びました

教員の食育に関する資質の向上と淡路地域の食育推進を目的に榎列小学校で11月2日、島内の小中学校の教員約110人が集まり公開授業参観などが行われました。

この日は各学年で公開授業が行われ、4年生の国語の授業ではせんべいの食感を「パリパリッ」や「サクッサクッ」などの擬音語で表現し、それらをグループで話し合いながら硬そうな擬音語順に並べ替えました。



▲お箸の金メダリストを目指す子どもたち

食育を取り入れた公開授業

へ左へと一生懸命移動させていました。

兵庫県連合自治会大会が開催

文化体育館で11月8日、兵庫県連合自治会大会が開催されました。これは兵庫県内各地の自治会の代表者が一堂に集まる会で、井戸敏三県知事



▲井戸知事から表彰状を受け取る沼島の島津さん(右)

から地域づくりに貢献した人たちに兵庫県自治賞が贈られ、また岩成孝県連合自治会会長から功労者には会長表彰が、県連合自治会役員

の」と題して農業を通じてのまちづくりについて講演も行われました。

◆兵庫県自治賞

- 島津 弘さん(沼島)
- 北野 雅幸さん(福良)
- ◆会長表彰
- 坂本 哲也さん(福良)
- 由井 宏さん(福良)
- 波戸崎正明さん(福良)
- 鳥取 太一さん(福良)
- 川上 登さん(福良)
- 石井 祝男さん(阿万)
- 奥条 節生さん(灘)

ふれあい市長室 要望書を知事に提出

南あわじ市長 中田勝久

先般、井戸知事及び県幹部職員の方へ平成25年度予算に反映するよう各種事業に関する要望書を出いたしました。

との連携を深め農業振興や6次産業化への支援を要請しております。生産基盤整備においては、緊急ため池整備事業の継続や有害鳥獣対策をお願いし、生活環境の改善においては、県道「阿万福良湊線」の整備、離島航路に対する支援、学童保育の充実などの少子対策、若人の広場の公園化支援について等多数の案件を要望しました。

特に南海トラフ巨大地震を想定した防災対策が重要です。防災に対する意識づくりや体制づくりなどと併せて、いち早く避難するための避難路整備、津波の遡上対策が必要で、また、低地帯における水害対策は、地域にとっての最重要課題であり、合併後策定した三原川水系河川整備計画に基づく事業や海岸浸食・越波・高潮対策を着実に進めるよう要望しております。

要望するだけの実現への道ではありません。自らも努力し行動しそして知恵を出し元気を出してこそ前進するものと確信しております。一つ一つの事業を着実に粘り強く実行に移し積み重ねることこそが夢を実現させる道だと考えております。

い止めるためには、産業を活性化しなければなりません。平成26年度から神戸淡路鳴門自動車道通行料が全国共通の料金水準の導入をめざすとしていますが、確実に実現させ交流人口の増大や輸送コストの低減等に繋げ活力を生み出すようお願いしております。また、まると淡路島の拠点施設整備により全国に誇れる地域産業や郷土文化をより一層アピールし、平成25年4月に開学する大学地域創成農学部

国内外の不安定な情勢や人口減少・少子高齢化など、課題は数多くあります。しかし、南あわじには優良な特産品や歴史文化、自然景観や風土、人材に至るまで、すばらしい素材や資源が沢山あります。市民の皆様におかれましては、南あわじ市の能力や将来への可能性を最大限に引き出すため、共に頑張ります。